

Topics 1

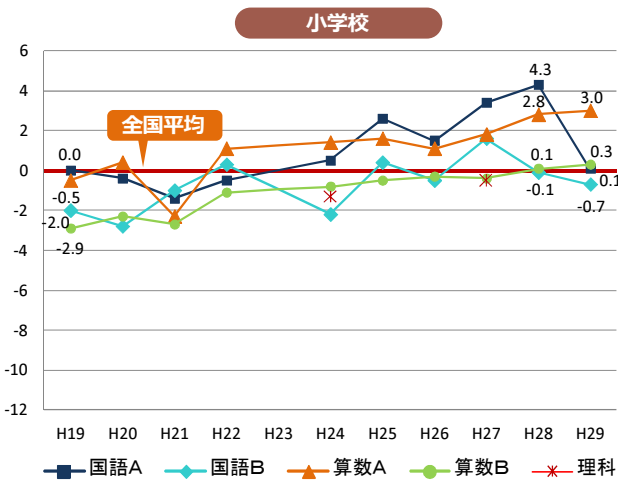
平成 29 年度全国学力・学習状況調査結果について

本年 4 月 18 日に行われた全国学力・学習状況調査の結果が 8 月 28 日に公表されました。今回は悉皆調査としては 8 回目、抽出調査を併せると 10 回目の調査となります。

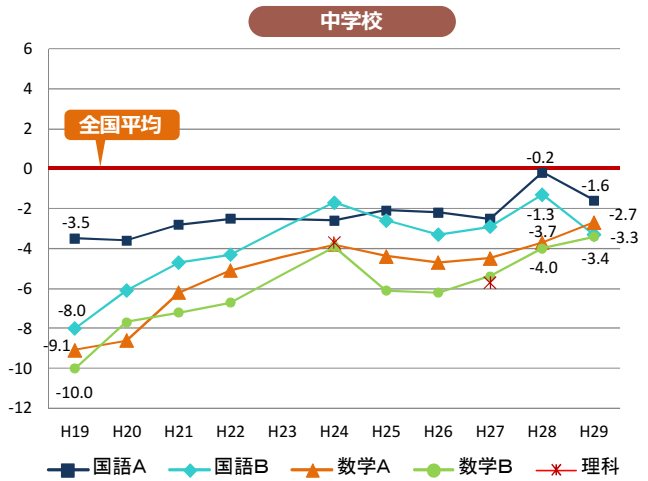
本県の結果は、調査が始まった平成 19 年度から全国との比較において改善傾向にあります。本年度は特に、算数・数学において過去最高の結果となり改善が進んでいます。一方、国語については小・中学校とも前年を下回る結果となりました。また、国語、算数・数学ともに、主に知識を問う A 問題よりも、主に思考力・判断力・表現力を問う B 問題に弱さが見られます。

このようなことを含め、今回は、8 月 28 日に公表された「全国学力・学習状況調査」の結果の概要と、今後の学力向上に向けた取組を紹介します。

<小・中学生の学力の状況>

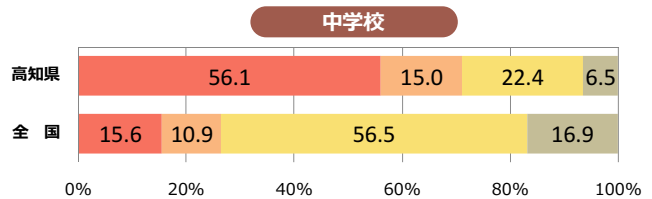
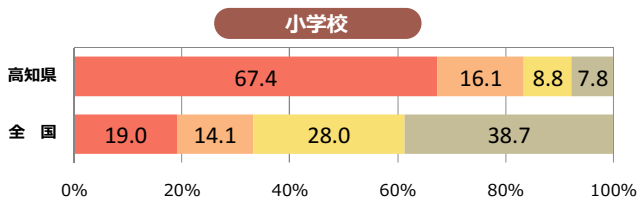


算数Aにおいては、全国平均を大きく上回り、全国上位となっています。一方、国語は全国平均とほぼ同等の結果となっていますが、特に国語Aは昨年度から大きく下がっています。

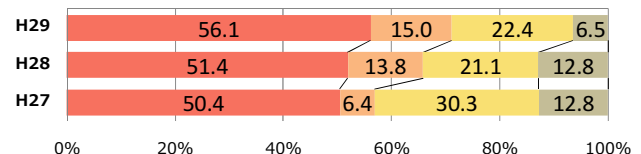
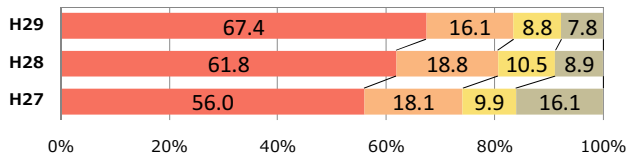


数学においては、3年連続で全国との差を詰めることができています。しかし、全ての教科で全国平均を下回っており、まだ課題が残る状態です。

<放課後を利用した補充学習の状況>



※高知県 過去3年間の推移



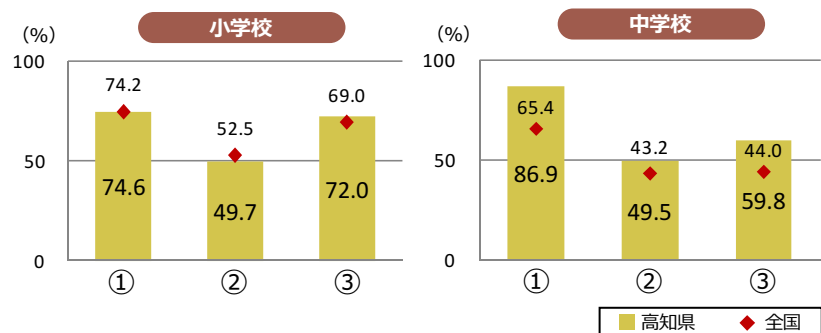
■ 週に2回以上 ■ 週に1回 ■ 月または年に数回 ■ 行っていない

週に1回以上放課後を利用した補充学習を行っている小学校は83.5%、中学校は71.1%で、小・中学校とも全国平均を大きく上回っています。過去3年間の推移をみても、放課後を利用した補充学習の回数が増えていることが分かります。算数・数学に成果が見られたのは、このような取組が一つの要因であると考えられます。

<授業における指導の状況>

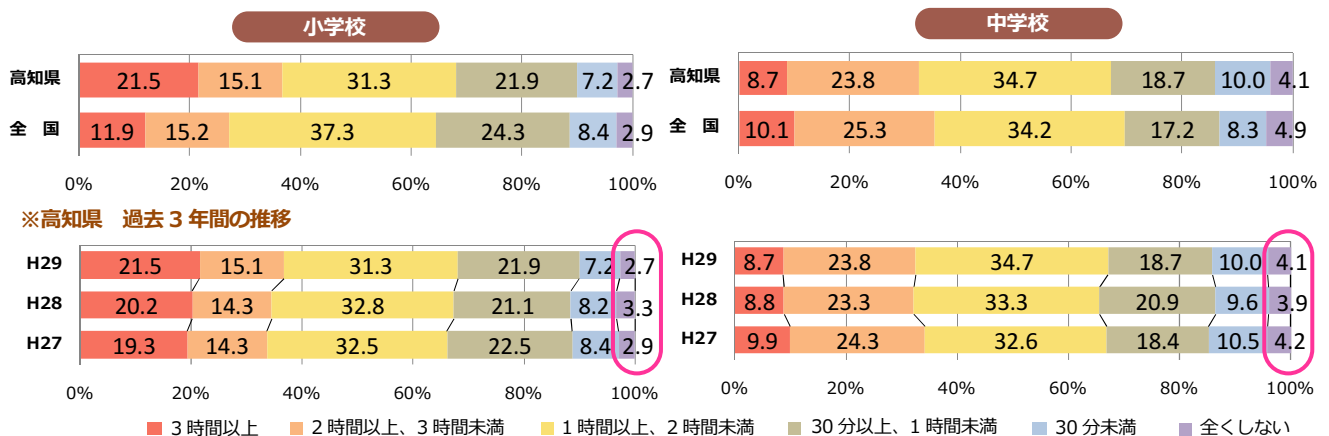
以下の①～③の項目に「よく行った」と回答した学校の割合

- ①授業の中で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れましたか
- ②授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか
- ③授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導しましたか



全国との差でみると、小・中学校ともに②の項目に対して、よく行ったと答えた学校の割合は、他の項目に比べて低い状況にあります。新学習指導要領でも、子ども自身が自らの学びを振り返って、次の学びに粘り強く向かうことができるようにするために、何が身に付いたか、学習評価の充実が求められています。計画的に振り返る活動を取り入れることを、学校全体で進めていきましょう。

<平日 1 日当たりの勉強時間>



1 時間以上勉強している児童生徒の割合を全国との差でみると、小学校は全国を上回っており、中学校は全国を下回っています。また、過去 3 年間でみると、小学校は年々増加しており、中学校は昨年度と比較すると増加しています。ただし、全く勉強をしないと答えた児童生徒の割合は、この 3 年間大きな変化はありません。ゲームやスマートフォン等の使用時間が年々増加傾向にあることから、学習習慣の定着に向け、家庭との連携を図りながら、個に応じた対応や支援を充実させていきましょう。

<今後の取組>

調査結果から明らかになった課題を解決するため、研修の機会や教材を充実させるとともに、各教科における授業改善を更に進めていきます。その際、「高知県教育大綱」や「第 2 期高知県教育振興基本計画」に基づき、各市町村教育委員会と連携を図りながら、特に以下に示したポイントを重点として取り組んでいきます。

学力向上のための 3 つの重点ポイント

● 学校の組織力の向上 = チーム学校の構築

全体で目標や課題を共通認識するとともに、その達成や改善のための具体的な方法（いつ、誰が、何を、どのように）と成果指標を明確にして PDCA を回しながら協働して取り組むチームをつくる。

● 教員の指導力の向上と授業改善

単元を通して育成すべき力や 1 時間 1 時間の授業の目標を明確にし、その目標から逆算し授業を構想する。

● 児童生徒の学習機会の充実

学習のつまづきに早期に対応し、よりきめ細かな個別指導や家庭学習指導を行うために、放課後や長期休業中などの時間を利用して、学習する機会を充実していく。



小中学校課ホームページはこちら。
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310301/>



小中学校課 学力向上担当
 TEL : 088-821-4908

第 39 回全国公民館研究集会高知県大会を開催します！

公民館は、学級や講座を実施することで地域住民の学習ニーズに応え、地域住民間の絆を築くとともに、各地のコミュニティの形成にも寄与することで社会教育の中核を担ってきました。

しかしながら、産業構造の変化や少子化・高齢化、価値観やライフスタイルの多様化など社会経済環境が変化する中で、地域社会の人間関係のあり方も大きく変容しています。地域住民が、自分自身の生活課題のみならず、地域社会に山積する課題についても自らのこととして捉え、その解決に向けた学習や活動を通じて地域社会に主体的に参画することで、新たな地域コミュニティの形成やその活性化が望まれます。

そこで、本研究集会では、中国・四国地区の公民館関係者をはじめ、全国の生涯学習・社会教育関係者が、自由民権運動発祥の地である高知に一堂に集い、地域の課題に応える公民館の取組とその存在意義について考察するとともに、子どもも大人も学びあう地域づくりの拠点として、変化の激しい現代社会のなかで、新たな絆を育む公民館のあり方について研究協議を行います。

社会教育や地域づくりに関心のある方ならどなたでも参加できます。当日参加も受け付けておりますので、ぜひお越しください。

第39回全国公民館研究集会 高知県大会

第40回中国・四国地区公民館研究集会高知大会

新たな絆を育む心ときめく公民館



期日 10月19日(木) ▶20日(金)

会場 高知県立県民文化ホール。

公民館の役割や活動の紹介、公民館のあり方について研究協議を行います。

第1日目 10月19日(木) 全体会 (高知県立県民文化ホール)

アトラクション・基調講演・パネルディスカッション (テーマ:「公民館への期待と可能性」)

第2日目 10月20日(金) 分科会 (全8分科会、高知県立県民文化ホール他6会場で実施)



詳しくは生涯学習課ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310401>



生涯学習課 社会教育支援担当

TEL : 088-821-4911

高知県幼児教育の推進体制シンポジウムを開催します！

平成 29 年 3 月に小学校学習指導要領・中学校学習指導要領とともに改訂が告示された幼稚園教育要領では、現代的な諸問題を踏まえた教育内容の見直しの基本方針に基づいて作成され、幼稚園教育で育みたい資質・能力の明確化や、小学校教育との円滑な接続が示されました。また、保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領も幼児教育の一翼を担うものとして、幼稚園教育要領との整合性が図られています。

県教育委員会では、幼稚園教育要領等策定の中心となった 3 名をお迎えして集中講座を実施します。同時に、高知県の「保育者育成指標」と、平成 29 年 4 月に厚生労働省から示された「保育士等キャリアアップ研修ガイドライン」を連動させた研修体系を発表し、本県における人材育成研修等による教育・保育の質の向上の取組を紹介し、そして午後は、国立室戸青少年自然の家をのびのびとした幼児の自然体験や運動活動を進めるための幼児期の体験プログラムが体験できます。

前日 11 月 22 日 (水) には、講師を交えた懇親会も予定していますので、ぜひお越しください。(部分参加可)

平成 29 年度 高知県幼児教育の推進体制シンポジウム

11 月 23 日 (祝) 国立室戸青少年の家

受 開 付 会	9:30~10:15 高知県の研修体制 「保育士等のキャリアアップ研修」と「人材育成指標」との連携 高知県教育委員会幼保支援課	休 憩	10:30~12:30 改訂幼稚園教育要領・改定保育所保育指針 解説 <対談者> 湯川秀樹氏 (文部科学省初等中等局視学官) 馬場耕一郎氏 (前 厚生労働省雇用均等・児童家庭局 保育課 保育指導専門員) 鈴木みゆき氏 (国立青少年教育振興育成機構 理事長)	昼 食	13:30~16:30 体験プログラム 一覧 ①山と海のクラフト ②基地づくり遊び ③幼児期の運動プログラム ④砂の造形遊び ⑤リズム×アンサンブル ワークショップ



ホームページ「高知県就学前の保育・教育サポートネット-とさすく-」

<http://www.tosasuku.net/>

とさすく

検索



幼保支援課 幼児教育担当

TEL : 088-821-4889

高知県教育の日「志・とさ学びの日」H29 標語・ポスター図案決定!!

11月1日は高知県教育の日「志・とさ学びの日」です。

このたび、この日をきっかけに、県民全体で教育について考える機運を盛り上げていくための啓発ポスターの標語・図案の受賞作が決定しました。

啓発ポスターは、9月下旬に学校や市町村教育委員会、図書館などに配付するほか、県主催イベント（「高知家」児童会・生徒会サミット（10/29）など）の会場での掲示など、高知県教育の日「志・とさ学びの日」のPRに活用させていただきます。

引き続き、この日の取組へのご協力をよろしくお願いいたします。



図案 最優秀作

H29 高知県教育の日「志・とさ学びの日」標語・ポスター図案 受賞者

【標語】

賞	氏名	学校名・学年等
最優秀作	三宮 康生 さん	土佐市立蓮池小 2年
優秀作	古地 悠馬 さん	南国市立北陵中 3年
	徳弘 奈月 さん	高知県立春野高 2年
	村山 保 さん	一般

【ポスター図案】

賞	氏名	学校名・学年等
最優秀作	上田 さくら さん	高知市立大津小 1年
優秀作	森下 早花 さん	本山町立本山小 6年
	唐岩 知夏音 さん	南国市立北陵中 2年



ともだちと
まなぶじかんは
たからもの

標語 最優秀作



高知県教育の日「志・とさ学びの日」Web サイト
(過去の受賞作もご覧いただけます。)

とさ学びの日

検索



教育政策課 教育企画担当
TEL : 088-821-4731

行事予定 (10月、11月の主なもの)

10月

- 6日 若者はばたけプログラム活用研修会(指導者・アドバイザー養成講座Ⅲ)(高知市 ふくし交流プラザ 10:30~)
- 13日 平成29年度高知県市町村教育委員会連合会研修会(高知市 高知会館 13:30~)
- 13・16・19 須崎総合高等学校説明会
日(13日 四万十町 窪川農村環境改善センター 15:00~)
日(16日 須崎市 須崎市民文化会館 15:00~)
日(19日 佐川町 佐川総合文化センター 15:00~)
- 15日 「高知家」児童会・生徒会サミット実行委員会(高知市 教育センター本館 13:00~)
- 19・20日 第39回全国公民館研究集会高知県大会兼第40回中国・四国地区公民館研究集会高知大会(高知市 県民文化ホールほか 13:00~ ※20日 9:30~)
- 26日 若者はばたけプログラム活用研修会初級講座Ⅲ(中部)(いの町 高知青少年の家 10:30~)
- 26日 平成29年度第2回多様な学習支援推進に関する検討会及び平成29年度第2回高知県遠隔教育調査研究校研修会(四万十町 窪川高校・四万十高校 9:20~)
- 27日 若者はばたけプログラム活用研修会初級講座Ⅲ(東部)(田野町 田野町ふれあいセンター 10:30~)
- 27日 第43回高知県小中学校教頭会研究大会(高知市 高知会館・高知共済会館 9:00~)
- 27日 「自信を持って取り組める医薬品の教育」研修会(高知市 サンピアシリーズ 13:00~)
- 28・29日 平成29年度高知県公立学校再任用選考審査(校長以外)(高知市 教育センター分館 9:00~)

- 29日 「高知家」児童会・生徒会サミット(高知市 高知ぢばさんセンター (ほか 10:00~))
- 29日 留学フェア2017(高知市 高知共済会館 13:30~)

11月

- 1・2日 第66回全国へき地教育全国大会、第6回中国四国へき地教育研究大会、平成29年度高知県へき地・複式研究大会(高知市 県民文化ホール (ほか 9:20~))
- 2日 「若者はばたけプログラム活用研修会初級講座Ⅲ(西部)(四万十市 中央公民館 10:30~)
- 4・5日 平成29年度高知県公立学校再任用選考審査(校長のみ)(高知市 県庁西庁舎 9:00~)
- 12日 県立青少年センター開設50周年記念式典(香南市 県立青少年センター 13:00~)
- 12・19・26 親子運動遊び教室
日(12日 高知市 県立大学池キャンパス体育館 10:00~)
日(19日 黒潮町 土佐西南大規模公園体育館 10:00~)
日(26日 香美市 香北体育センター 10:00~)
- 12日 第7回科学の甲子園 高知県大会(いの町 高知県立青少年体育館 9:30~)
- 14日 高知県高等学校総合文化祭開幕(～19日)(高知市 かるぼーと、追手前高校芸術ホールほか 日中開催)
- 23日 平成29年度高知県幼児教育の推進体制シンポジウム(室戸市 国立室戸青少年自然の家 9:00~)
- 25日 第24回四国地区公立小・中学校女性校長研究大会高知大会(高知市 アスパルこうち 10:00~)

<発行者> 高知県教育委員会事務局教育政策課

TEL : 088-821-4731 FAX : 088-821-4558 E-mail : 310101@ken.pref.kochi.lg.jp

高知県教育委員会 WEB サイト : <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310000/>

※本広報紙への感想やご要望がございましたら、発行者までお寄せください。

